

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総 合 評 価

受診施設名	松井ヶ丘保育園	施設 種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

平成 3 1 年 3 月 4 日

総 評	松井ヶ丘保育園は、昭和 5 4 年に開設され、平成 2 3 年に現在の 新園舎に移設されました。松井山手駅前の 0, 1 歳児定員 3 0 名の 分園を含めて、0 歳児から 5 歳児まで 2 4 0 名の保育を行っています。 保育理念として、「生きるための基礎となる力」、「福祉の積極 的な増進」、「子どもの最善の利益を守る」を掲げ、地域のニーズ に合った園運営がなされています。 分園では 0, 1 歳児が家庭的な雰囲気の中でゆったりと過ごして おり、2 ～ 5 歳児は、子どもの主体性を大切にした環境構成がなさ れており、幼児クラスでは英語遊びや自然体験、色遊びなど特色あ る保育を実践されています。 保育の質の向上を図るために園内研修を毎月実施されており、管 理者を中心にそれぞれの職員が各自の役割を把握し、向上心をもっ て意欲的に保育にあたっています。
特に良かった点(※)	- 施設経営の透明性を高めるために、公認会計士による外部監査を 導入し、経営改善に取り組まれています。(通番22) - 入園説明会では十分な時間をとって説明がなされ、個人面談では 個別のニーズや配慮事項を抽出できるよう記録されています。 (通番31) - 小学校との連携は、小学校との接続カリキュラムを作成し、意見 交換ができています。(通番56)
特に改善が 望まれる点(※)	- 第三者評価を定期的に受診するなど保育の質の向上に対して熱心 に取り組まれています。今後は、評価結果の分析や検討、職員間 での課題の共有、そして保育所全体の自己評価の定期的な実施が 求められます。(通番8) - ヒヤリハット等の記録をとり事故防止に努めていますが、リスク マネジメントに関する委員会の設置や、安全確保・事故防止に関 する研修を実施するとなお良いでしょう。(通番36) - 食物アレルギーを持つ児童への対応はしっかりしていました。 今後は、誤食が発生した時の緊急対応訓練などをされるとさらに 良いでしょう。(通番59)

※それぞれ内容を 3 点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」
の「自由記述欄」に記載しています。

福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	松井ヶ丘保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成31年3月4日

保育所評価基準 対比シート (H29年4月～)

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	項番	評 価 細 目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	b
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	a
		3	②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	b
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c	c
		5	②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	b
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	b
		7	②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	b
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	b
		9	②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	b

[自由記述欄]

・保育理念や保育方針については、入園のしおりやホームページ等に記載されています。また、幼児期の終わりまでに育てたい10の姿について、入園のしおりの中でわかりやすく図で説明されており、保護者への周知に取り組まれています。(通番1)

・管理者は、社会福祉事業の動向について具体的に把握分析を行っており、利用者の推移についても前年との比較表を作成し、分析が行われています。(通番2)

・中・長期計画が作成されていません。計画的な施設運営のために中・長期計画の作成が求められます。(通番3)

・事業計画においても、中・長期計画をもとに、職員参画のもと重点課題などを設定し、取り組まれるとなお良いでしょう。(通番4)

・第三者評価を定期的に受診するなど保育の質の向上に対して熱心に取り組まれています。今後は、評価結果の分析や検討、職員間での課題の共有、そして保育所全体の自己評価の定期的な実施が求められます。(通番8)

Ⅱ 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-1 管理者の責任と リーダーシップ	Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10 ①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	b
		11 ②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	b
	Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12 ①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b	b
		13 ②	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	b
Ⅱ-2 福祉人材の確保・ 育成	Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事 管理の体制が整備されている。	14 ①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	a
		15 ②	総合的な人事管理が行われている。	b	b
	Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16 ①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	a
	Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17 ①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	b
		18 ②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	b
		19 ③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	b
	Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる 専門職の研修・育成が適切に行わ れている。	20 ①	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	b
Ⅱ-3 運営の透明性の確 保	Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取 組が行われている。	21 ①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	b
		22 ②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	a
Ⅱ-4 地域との交流、地 域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されて いる。	23 ①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	b
		24 ②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	b
	Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されてい る。	25 ①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	b
	Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を 行っている。	26 ①	保育所が有する機能を地域に還元している。	b	b
		27 ②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	b

[自由記述欄]

- ・必要な人材育成のために、新規採用者育成計画が策定されており、職員にも周知されています。（通番14）
- ・職員一人ひとりの育成のために育成面談シートを作成し、毎年各自の目標を設定し取り組んでいますが、今後は目標水準や目標期限等が明確にされるとな良いでしょう。（通番17）
- ・保育の質の向上を図るために園内研修を毎月実施されています。また、職員が園外研修に参加できるよう努力をされています。今後は、研修計画を策定し、計画的に研修を実施、参加されると良いでしょう。（通番18）
- ・施設経営の透明性を高めるために、公認会計士による外部監査を導入し、経営改善にも取り組まれています。（通番22）
- ・園庭開放を行い地域住民との交流をはかっていますが、地域で行われる行事や活動に参加し交流する機会を設けることも必要です。（通番23）
- ・中学生の職業体験の受け入れを積極的に行っていますが、その他のボランティア受け入れに係るマニュアルの整備が必要です。（通番24）
- ・必要に応じて関係機関と連携をとっていますが、連絡会等の会議記録等を整備されるとな良いでしょう。（通番25）
- ・園庭開放のほかに、専門性をいかした相談事業や研修会などを開催されとなお良いでしょう。（通番26）
- ・一時預かり保育事業のニーズを把握し2019年4月より実施される予定です。（通番27）

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	b
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	b
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	a
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	a
	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	a
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	b
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	a
	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	b
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	b
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	b
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	b
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b	b
		41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	b
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	b
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	b
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b	b
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	a

[自由記述欄]					
・子どもの尊重や基本的人権への配慮のための研修・勉強会を実施していますが、研修等の後の報告書等を作成し共有化するとお良いでしょう。（通番28） ・子どものプライバシー保護に配慮するために、規程・マニュアルを整備するとお良いでしょう。（通番29） ・利用希望者に園を理解していただけるパンフレットの提示や、丁寧な説明がなされています。（通番30） ・入園説明会では、重要事項説明書と園のしおりに基づき十分な時間をとって説明がなされ、その後個人面談では個別のニーズや配慮事項を抽出できるよう記録されています。（通番31） ・「こどもーしょん」というソフトにより発達経過記録を作成し、転園先での保育の継続性を担保し、保護者にも同時に配布しています。（通番32） ・苦情解決の仕組みは、園のしおり等に明示しており、保護者には毎年4月の園だよりや掲示板でも周知しています。（通番33） ・保護者が相談しやすいようプライバシーに配慮されたスペースを確保していますが、相談方法が選べるようわかりやすく説明された文書があると良いでしょう。（通番34） ・保護者の声に具体的に答えていけるようマニュアルが整備され、園だより等で回答を行っています。（通番35） ・ヒヤリハット等の記録をとり事故防止に努めていますが、リスクマネジメントに関する委員会の設置や、安全確保・事故防止に関する研修を実施するとお良いでしょう。（通番36） ・感染症に係る情報提供を保護者に適宜行っていますが、感染症の予防と発生時の対応マニュアルの定期的な見直しをするとお良いでしょう。（通番37） ・災害時の安否確認の方法がメール配信により確立されています。食料や備品の備蓄リストがあると良いでしょう。（通番38） ・不審者侵入時の対応の訓練を実施していますが、警察との連携による研修があると良いでしょう。（通番39） ・保育にかかる標準的な実施方法を文書化されていますが、定期的な見直しと、見直しの実施方法を確立するとお良いでしょう。（通番40・41）					

- ・ アセスメントに基づき、保育者以外に栄養士を交え離乳食・アレルギー除去食に関する協議を行っています。（通番42）
- ・ 個別の指導計画に基づき保育の記録がなされています。情報共有を目的とした定期的な会議が実施されるとな良いでしょう。（通番43）
- ・ 子どもの記録に関する管理体制が適切になされ、新規採用者には個人情報の管理に関し丁寧に説明をされています。（通番44・45）

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 保育課程の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭 及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	b	b
		47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b	a
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b	b
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	b
		51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a
	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b	b
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	b
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a

[自由記述欄]

- ・全体的な計画は策定されていました。今後は、計画の編成や評価・見直しのプロセスにおいて様々な職員が参画できるようにするとお良いでしょう。（通番46）
- ・園内は清潔によく整備されていました。（通番47）
- ・乳児（0、1歳児）に対しては、ゆったりした環境が確保され、保護者の安心が得られる環境があります。（通番48）
- ・幼児は登園後、自分で着替えをすませると、机上遊びやままごとなど自分でやりたい遊びを選択し、自由に楽しむことができていました。（通番49）
- ・子どもたちの自主性を大事にした活動として、年間を通して取り組んできたことを、発表会に取り入れるなどされていました。（通番50）
- ・小学校との連携は、小学校との接続カリキュラムを作成し意見交換ができています。（通番56）
- ・アレルギー児童への対応マニュアルはありますが、誤食が発生した時の緊急対応の定期的な訓練を実施されるとなお良いでしょう。（通番59）

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	b
	A-2-(2) 保護者等の支援	63	① 保護者等が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	b
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	a
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	b

[自由記述欄]

・家族との緊密な連携については、各クラスでその日の保育について玄関の掲示板で知らせたり、連絡ノートを活用したりするなど家庭との連携をとっています。今後は、記述についての基準を定められるとなお良いでしょう。（通番62）

・保育士は指導計画などで自身の保育を振り返れるようにし、主任等からアドバイスをもらい、質の向上に努めています。また、年度末には1年の保育を振り返りを行い、次に活かせるよう繋げています。（通番65）